近畿島根県人会
だより
１０５号

令和７年
５月９日発行

大阪・関西万博
―勇壮に舞う石見神楽―

石見神楽は、一九七〇年の日本万国博覧会「大阪万博」において、「石見神楽・大蛇退治」として、はじめて13頭もの大蛇を登場させ、観客を驚かせました。これ以降、日本を代表する民族芸能として知られることとなり、国内外の公演も数多くおこなっています。

二〇二五年日本国際博覧会「大阪・関西万博」では、浜田市と益田市が石見神楽を上演します。

浜田市は、6月19、20日に万博の開会式も行われたメイン会場EXPOホール「シャインハット」にて、浜田市石見神楽の単独公演「IWAMI KAGURA HEROES」と題した公演を行います。55年ぶりとなる万博で、大蛇55頭、総勢一五〇名が出演し、万博を盛り上げます。

演出には、EXILEの振付やライブの演出も手掛けている株式会社LDH JAPAN所属のPATO氏を迎え、プロジェクションマッピングや音と光の演出で、世界に向けて石見神楽の魅力を発信します。

EXPO2025大阪・関西万博特別公演
（浜田市）

EXPOメッセ「WASSE」南で行われるローカルジャパン展は、全国から集結した東北から沖縄まで43地域が、地域や文化、世代を超えて共創する催事です。

世界に誇る古から最先端な技術や伝統文化、音楽、食、健康、自然などをテーマに届けます。

7月29～31日は、浜田市が、「人々のくらしとともに舞い続けられてきた神楽と職人の技」を企画として、宮崎県（西都市・木城町・西米良村）の「米良の神楽」とコラボレーションし、子ども石見神楽を上演します。

7月30、31日は、益田市が、「お祭り的多文化交流」というテーマで、大阪府泉佐野市の「まくらまつり」とコラボレーションします。

良縁や安産、豊作や豊漁を祈願するお祭りの、地域における表現の違いを感じることができる特別なステージです。

地域で受け継がれてきた伝統的なお祭りが万博の舞台でコラボレーションし、舞を通じたお祭りのエネルギーをお届けします。

大阪・関西万博出演記念
益田市高槻市姉妹都市交流特別公演

益田市は、翌日の8月1日に、姉妹都市である大阪府高槻市にて、大阪・関西万博出演記念、益田市高槻市姉妹都市交流特別公演「石見神楽」を上演します。

大阪・関西万博　―ブルー仁王の展示―

オランダ・アムステルダムと奥出雲町の間に“絆”があることをご存じですか？

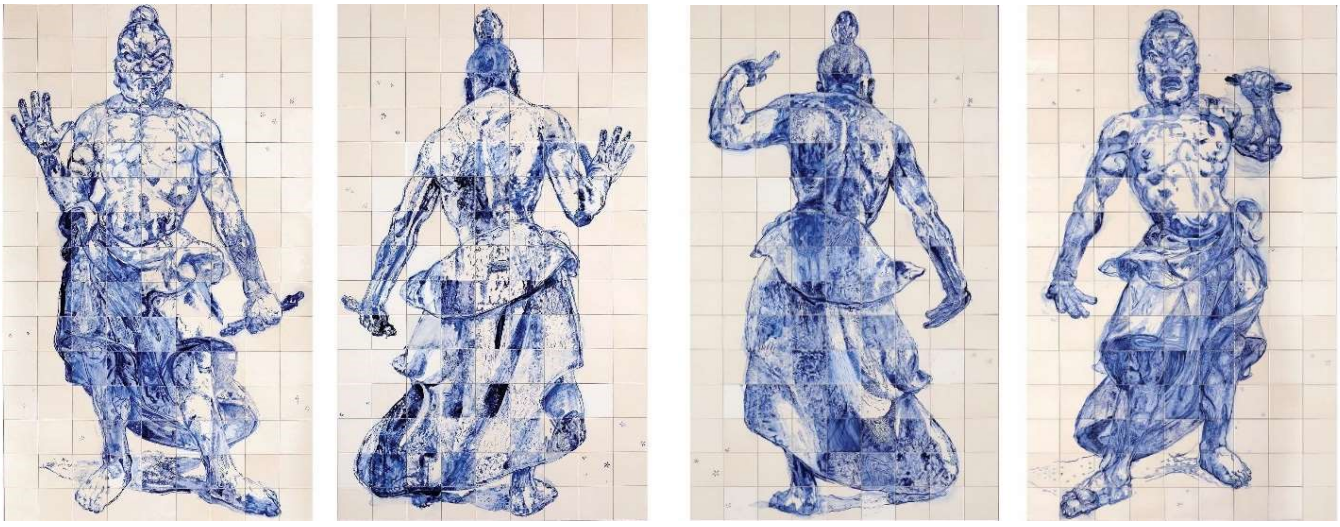
実は、アムステルダム国立美術館には、奥出雲町岩屋寺にあった仁王像が展示されています。

この仁王像は、14世紀に制作されたもので、かつては岩屋寺の仁王門に安置され、地域の人々から「村の宝」として親しまれていました。

しかし、寺院の廃寺に伴って京都の古美術商の手に渡り、二〇〇七年にアムステルダム国立美術館が購入。二〇〇八年にオランダに渡り、二〇一三年から同館のアジア館にて展示されています。

この仁王像を「奥出雲町へ戻してあげたい」という想いを抱いた、オランダの芸術家イエッケ・ファン・ローンさんの発案により、オランダの伝統工芸「デルフトブルータイル」で仁王像を再現するプロジェクトがスタートしました。

イエッケさんは仁王像を初めて見たとき、その迫力と精神性に感銘を受ける一方で、美術館の中に静かに佇む姿が、本来の守護という役割から切り離されているように感じたといいます。



デルフトタイル仁王像

その後、実際に仁王門を訪れ、地域の方々が仁王像の不在に今も寂しさを感じていることを知り、「像を物理的に戻すことはできなくても、その魂だけでも返したい」という想いから、このアートプロジェクトを立ち上げました。

プロジェクトでは、原寸大の下絵を細かく切り分け、青色の顔料でタイルに描くワークショップを、アムステルダム市民・奥出雲町の町民の皆さん約四〇〇人が参加し、実施しました。

完成した「ブルー仁王」は、二〇二五年大阪・関西万博のオランダパビリオンに、10月1日から数日間、展示される予定です。

さらに、10月1日には、奥出雲町立横田中学校の生徒によるワークショップも開催され、生徒が奥出雲町の地域の紹介や地域から得た学びについて発表される予定となっています。

【お問い合わせ先】
島根県大阪事務所
観光移住スタッフ
TEL：06―6364―3605

大阪・関西万博における島根県の出展内容

「大阪・関西万博」は、大阪湾に浮かぶ人口島・夢洲（ゆめしま）を舞台として、２０２５年４月13日（日）から10月13日（月）までのおよそ半年間にわたり開催されています。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして、海外からは１６０以上の国や地域、国内からは多くの企業や自治体が参加し、国内外へのアイデアの発信や地域・経済の交流活性化の実現等に向けた様々なパビリオンや催事が展開されています。

島根県の催事イメージ

万博会場には多くの人と注目が集まることから、島根県としても地域の魅力を国内外へＰＲ、将来的な誘客を図る機会になると捉え、８月27日（水）から31日（日）にかけて、「ご縁も、美肌も、しまねから。」をテーマとした催事を行う予定です。（催事会場は東ゲート側の日本館近くに位置する屋内展示場「ギャラリーＥＡＳＴ」、広さ約３００㎡）

島根県の催事では、県内３つのエリア（隠岐・出雲・石見）について、文化や伝統、自然といった切り口から各所の魅力を伝えます。出雲大社の模型や鷺舞の衣装、隠岐ユネスコ世界ジオパークの紹介といった展示物のほか、島根県立美術館による葛飾北斎ペーパーバック作り、石見銀山や隠岐の自然を体感できるＶＲコーナー、石見神楽のミニ公演といった体験コンテンツ等をご用意し、島根が持つ多様な魅力に触れていただき、来県の動機付けとなるような催事を目指します。

また、関西地域に訪れている外国人観光客をターゲットとして、観光案内所や宿泊施設でのＰＲ、多言語特設サイトを活用したＳＮＳ・ＷＥＢ広告の実施、大阪―島根間を片道２０００円で利用できる高速バス割引の実施等の誘客プロモーションも展開しています。万博会場での催事と併せて、「旅の目的地」として島根が選ばれるための取組を継続して参ります。

外国人向け誘客プロモーション

【お問い合わせ先】
島根県　商工労働部　観光振興課
ＴＥＬ：０８５２―２２―６７５６

２０２５大阪・関西万博パビリオンでの島根県産木材活用

４月より大阪夢洲で開催されている２０２５年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）ですが、立ち並ぶ国際パビリオンの中でも勇壮な木材の林立した姿で目を引くのが、ウズベキスタンパビリオンです。

パビリオンのテーマは「知識の庭：未来社会のための実験室」で、ドイツの建築設計会社のアトリエ・ブリュックナーがデザインを担当しました。ウズベキスタンの豊かな文化遺産、先進的な建設技術、そしてＳＤＧｓへの取り組みを表現しています。

2025年大阪・関西万博ウズベキスタンパビリオン
（デザイン：アトリエ・ブリュックナー、提供：ACDF）

ユネスコ世界遺産に登録されているヒヴァの建築や中央アジアの伝統的な護符「トゥマール」から着想を得たデザインで三角形の平面をしています。

屋根のデザインには約３００本の木材が使用されており、島根県をはじめ、奈良県、鳥取県など９県から集められました。木材はすべて日本の固有種であるスギが使われています。

木材にはトラッカーが付けられており、来場者はスマートフォンを使って、どこで伐採された木材なのか、それぞれの木の産地を追跡することができます。それを明らかにすることは、世界的に木材の合法性が問われている時代の中で、ウズベキスタンの精神性、先進性、道徳的価値観を示すことにもつながっています。

日本人の精神として、木材などの自然万物には神が宿る、と考えられています。それは言い換えれば木々の命の記録を残しているともいえます。

日本創生を描いた神話の地として、神々の国と呼ばれる島根県から納められた木材は、ひときわ日本やウズベキスタンの精神性に近いのかもしれません。

島根県内のスギ山林

近畿県人会の皆様もぜひ期間中に２０２５大阪・関西万博にご来場のうえ、その中で島根県の木を見つけていただき、故郷の地へ思いを馳せていただけますと幸いです。

【お問い合わせ先】
島根県大阪事務所
産品振興スタッフ
ＴＥＬ：０６－６３６４－３６０５

こんにちは 吉賀町ふるさと会 です。

近畿地方で活動される市町村人会のご紹介です。
第40回は「吉賀町ふるさと会」のご紹介です。

関西吉賀会からゆるやかな繋がりへ

これまで関西吉賀会として、活動をしてきた会ですが、ゆるやかな繋がりの会へと変えることとしました。

≪みんなで楽しむ会へ≫

令和５年11月11日に大阪市で開催した、関西吉賀会臨時役員会において、これまでの会長、副会長などの役員をおく組織構成をやめ、「集い」を年１回開催するという、楽しさを中心とした会とすることが決まりました。

吉賀町ふるさと会の集い

名称も「吉賀町ふるさと会」とし、会の内容も、久しぶりに再会した友人、知人との会話や、吉賀町のことを思い出してもらえるようなものとしました。

「吉賀町ふるさと会の集い」としての第１回目となった令和６年度は、会の開始まで吉賀町の空撮動画を見ていただき、懐かしいふるさとの情景を思い出していただく時間としました。

集いの途中ではプチクイズタイムとして、吉賀町の「方言かるた」を使い、参加者の皆さんに方言と共に、昔を思い出してもらう時間にしました。かるたの中にはすぐ答えが分かるものから、答えが最後まで分からない方言などもあり、考えながら楽しんでいただくことができました。

会の開催自体が久しぶりであったこともあり、参加された皆さんの楽しそうな会話と、笑顔がいっぱいの「集い」の時間となりました。

吉賀町の「方言かるた」

≪これから≫

近畿方面には、吉賀町出身の方も多くおられます。この「集い」の場が、多世代の人たちがつながることができるような会になれたらと思っています。これからも、内容なども検討しながら、吉賀町出身者や吉賀町に関わってくれた人たちが、楽しい時間を過ごせるような「集い」を開催していきたいと思います。

【お問い合わせ先】
吉賀町企画課
ＴＥＬ：０８５６―７７―１４３７

島根県大阪事務所からのお知らせ

イベント情報

【空楽フェスタ】

就航地である出雲市、益田市、隠岐の島町からも参加し、飲食や物販を行います。
また、県ブースでは、お楽しみ企画を用意しています。

〔日時〕５月17日（土）10～16時
〔場所〕大阪国際空港（伊丹空港）
４階展望デッキ
北ターミナル

【神戸まつり】

おまつり広場にて、島根県の美味しいものを販売します。
ぜひ、お立ち寄りください。

〔日時〕５月18日（日）11～16時半
〔場所〕三宮フラワーロード周辺
おまつり広場

※詳細は、大阪事務所公式Ｘ（旧ツイッター）、インスタグラム（関西しまね推し）をフォローして、ご確認ください。

近畿島根県人会事務局からのお知らせ

【近畿島根県人会　会員募集】

お知り合いの方で当県人会にご興味ある方がおられましたら、事務局までご連絡ください。活動内容や入会方法等をご説明します。

※市町村会の方で、県人会未加入の方へ、ぜひお声がけ願います。

【近畿島根県人会ホームページ閉鎖のご案内】

近畿島根県人会ホームページは令和７年４月30日で閉鎖いたしました。
今後は、島根県／大阪事務所／県人会のページをご覧ください。

【異動の連絡】

住所・連絡先等に変更がございましたら、近畿島根県人会「会報」巻末の『異動通知連絡票』をご提出ください。
また、記載事項に誤り等がございましたら、事務局までご連絡ください。
ご理解とご協力をお願いいたします。

イベント開催報告

各種イベントに多数ご来場いただき、ありがとうございました。

プロバスケットボール試合
島根スサノオマジックVS
大阪エヴェッサ
2025年2月28日（金）3月1日（土）
おおきにアリーナ舞洲

ＯＡＰさくらまつり
2025年3月28日（金）～30日（日）
4月4日（金）～6日（日）
大阪アメニティパーク

ご当地キャラ博ＥＸＰＯinりんくう
2025年4月12日（土）13日（日）
あさひ賃貸りんくうステージ
＆りんくうアイスパーク

発行所　近畿島根県人会
大阪市北区西天満３－１３－１８　島根ビル２Ｆ　ＴＥＬ：０６－６３６４－３６０５　ＦＡＸ：０６－６３６４－３８５４